夢追人Ⅲ

かとう学園　宗像市立河東中学校
学校通信7号(R元. 11. 13)

① 「笑顔」で彩った「文化祭」・「河東マルシェ」

■10月19日(土)、前日までの雨も上がり、「第34回河東中学校文化祭」と「河東マルシェ」は開催されました。今年の文化祭のテーマは『Power of smile　ー河東を彩る笑顔の花火ー』で、生徒一人一人の笑顔を“花火”に例え、個性豊かで大輪の花火を保護者や地域の方に見てもらい、“一歩先の自分へ”成長していくことを目的としました。当日は、生徒の「本気・本物」の表現を通して、たくさんのやり遂げた笑顔や共感した笑顔、皆で創り上げた笑顔をお届けすることができたと考えています。

■そこで、今回は生徒会文化委員長の2人と1年生代表の1人に、文化祭を振り返ってもらいました。

◆図書・文化委員長　３年４組：江口 兼生 さん◆

僕は今回の文化祭で、様々な壁に直面しました。その中で一番大きかった壁は、「オープニング・エンディングの動画の作成」でした。

僕たち生徒会役員の中でも話し合いがうまく進まず、その影響で作成日程が遅れてしまいました。その様な中、さらにシナリオを練り直すことが必要となり、時間が足りない状況がひどくなりました。しかし、生徒会役員の一人一人が話し合いに積極的になったり、自分の役割を意欲的に果たそうとしたりしたことで、何とか文化祭直前に完成させることができました。

どのような壁でも、皆が協力し頑張って取り組めば、乗り越えることができることの大切さを実感できた文化祭でした。

◆図書・文化委員長　３年２組　中原 彩絢 さん◆

私は今年の文化祭を通して、普段学ぶことができないことを学ぶことができたと感じています。文化祭の司会という立場に立って、臨機応変に進行を変更したり、他の生徒会役員の皆を動かしたりしていくことの難しさを学ぶことができました。とても緊張しましたが、良い経験となりました。また、生徒会役員作成の動画を自分たちで企画・撮影等を行うことはとても大変なことでしたが、多くの生徒やご覧いただいた皆さんが笑顔となってもらえたことがとても嬉しく思いました。この経験を今後の学校生活に活かしていけるように、これからも頑張っていきたいと考えています。

◆１年４組：俵　悠太 さん◆

私が文化祭で一番思い出に残ったことは、やはり１年生の合唱です。１年生の皆は、帰りの会や放課後にたくさんの練習に取り組んできたので、当日は練習の成果を出そうと思いながら精一杯歌いました。その思いは見事に届き、大きな声で綺麗に歌うことができました。歌い終わるとたくさんの拍手に包まれ、達成感を得ることができました。１年生の後には２年生、３年生の合唱がありました。先輩たちの合唱には、人を魅了する力があったので、来年の文化祭では先輩たちを超える合唱をつくろうと思っています。

■また、「河東マルシェ」についてもPTA高橋会長 様からご支援いただいた皆様にメッセージを頂いています。

今年も河東マルシェに、多くの皆様にご参加いただき誠にありがとうございます。当日お手伝い頂きました河東小ＰＴＡ、河東西小ＰＴＡ、河東西小ボランティア「ねこのて」の皆様に改めまして御礼申し上げます。

今年のマルシェでは、初出店の河東小ボランティア「おやこの会」の豚汁、大島学園のトルネードポテト(約５００個)と大変盛り上げて頂きました。地域からは、城西ヶ丘自治会様、ひかりヶ丘自治会様。店舗出店では、大島の島カフェ様、メロンパンのSHIN屋様と多くの方にご協力いただきました。また、各学年委員の皆様にはマルシェ当日まで、会議の出席、出店準備、当日の店舗運営など活動頂きありがとうございました。

当日は、あいにくの曇り空でしたが、生徒の皆さんが楽しく食べている姿や行列に笑顔で並んでいる姿を見て、本当にやって良かったと感じました。

今年度もあと約半年となりました。河東中ＰＴＡはこれからも生徒たちの活動を支援し続けてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

② 全国学力・学習状況調査(3年生)、福岡県学力調査(1・2年生)の結果

■3年生が4月に実施した「全国学力・学習状況調査」、1・2年生が6月に実施した「福岡県学力調査」の結果が公表されました。今年度の「全国学力・学習状況調査」は、国語・数学に加えて英語も実施されました。

(1)全国学力・学習状況調査(3年生)

【資料1】河東中・福岡県・全国の平均

	国語	数学	英語
河東中	77	66	56
福岡県	72	59	54
全国	72.8	59.8	56

■資料1から、河東中の平均正答率は、国語と数学については、県や全国の平均正答率を上回っています。また英語については、県を上回り全国と同程度になっています。各問題の正答率を分析すると、各教科で次の課題(不十分な点)が見られます。

[国語] ●話合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択することができる。など

[数学] ●グラフ上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を，事象に即して解釈することができる。など

[英語] ●文の中で適切に接続詞を用いることができる。など

このような課題から、各教科の授業だけでなく、0校時の取組を含めて、知識・技能の確実な習得をさらに進めていきます。また、各教科の授業においては、次の視点で授業を見直していきます。

[国語] 話合いの話題や方向を捉えるために、話合いの話題について確認し、経過を捉えることができるような活動を充実させます。

[数学] 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する活動を充実させます。

[英語] 2つの文の意味を考えた上で、適切な接続詞を用いて1つの文を作る活動を充実させます。

【資料2】学習状況調査　＊肯定的な回答の割合

	質問事項	河東中	福岡県	全国
①	毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか	77	78	78
②	毎日，同じくらいの時刻に起きていますか	91	94	93
③	自分には，よいところがあると思いますか	68	73	74
④	将来の夢や目標を持っていますか	69	71	71
⑤	今住んでいる地域の行事に参加していますか	42	47	51

■資料2は、生徒質問紙の肯定的な回答の割合です。左の5つの質問は、自尊感情の高揚や家庭学習の定着など、近年の河東中の課題となっている事項です。徐々に向上していますが、今後も「鍛えて、ほめる」を学校と家庭・地域で実践していくことが必要であると考えております。

(2)福岡県学力調査(1・2年生)

	国語基礎	国語活用	数学基礎	数学活用
河東中(1年)	69.6	57.4	72.1	55.1
福岡県(1年)	67.2	56.0	70.0	49.8
河東中(2年)	53.1	55.7	55.9	57.1
福岡県(2年)	51.2	54.9	58.6	53.6

■福岡県学力調査は、1・2年生の国語と数学を対象に6月に実施されたものです。資料3から、1・2年生の国語は、1年生の数学は基礎・活用ともに県の平均より高いことが分かります。また、2年生の数学については、活用の問題は県の平均を上回っていますが、基礎は県の平均を下回っています。各問題を分析した課題を基に、次の視点で授業を見直していきます。

[1年国語] 書くことに関する事項の指導に重点を置きます。

[1年数学] 数と計算などの基本的な技能の定着を図る指導に重点を置きます。

[2年国語] 話合いの内容をとらえたり、文章と資料の内容をとらえたりする指導に重点を置きます。

[2年数学] 基本的な技能の定着を図るとともに、関数領域の指導に重点を置きます。

■上述の取組は、当該学年だけでなく、河東中全体の課題として全年生で取り組み、来年度以降の学力調査において検証していくことになります。